

安全データシート

整理番号： CHR11
作成： 2013/01/31
改訂： 2017/11/28

商品名： 日石ネオポリマーE-130

1. 化学物質等及び会社情報

化学品の名称： 日石ネオポリマーE-130
会社名： JXTGエネルギー株式会社
住所： 〒100-8162 東京都千代田区大手町一丁目1番2号
担当部門： 添付資料参照
(TEL:添付資料参照, FAX:添付資料参照)
緊急連絡電話番号： 添付資料参照

2. 危険有害性の要約

GHS分類 該当しない
GHSラベル要素

絵表示： なし
注意喚起語： なし
危険有害性情報： なし
注意書き： 安全対策 取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
火災の場合には、消火に泡、粉末消火器および大量の水を使用すること。

応急措置 皮膚（または髪）に付着した場合：流水で洗い流すこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
施錠して保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。

廃棄 廃棄は焼却により行なう。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 化学物質
成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	化審法	安衛法	化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質
石油樹脂 (C4～C5炭化水素留 分・C8～C10芳香族炭化水素留 分・フェノール共重合物)	100	非開示	6-1506	公表	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚に付着した場合：	多量の水で洗うこと。
眼に入った場合：	清浄な水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用してい て容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した 後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。 口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。
予想される急性症状及び遅発性症状：	現在のところ有用な情報なし。
最も重要な徴候症状：	現在のところ有用な情報なし。
応急措置をする者の保護：	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。火気に注意する。
医師に対する特別な注意事項：	現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤：	泡、粉末消火器および大量の水。
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の危険有害性：	燃焼の際は、一酸化炭素等が生成される。
特有の消火方法：	火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想 定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。 消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏およ び有害ガスから身をまもること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用 し、風上から作業する。 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。
環境に対する注意事項：	下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意す る。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材：	固体なので飛散させないように集める。
二次災害の防止策：	高温状態では熔融するので、付着による火傷に注意して、大量の水で冷 却、固化させる。 漏洩物を完全撤去、清掃を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	8. ばく露防止及び保護措置に記載の設備対策を行い、保護具を着用す る。 直接の火気との接触は避ける。禁煙。
局所排気・全体換気：	開封場所には、局所集塵装置の設置が望ましい。
安全取扱注意事項：	保護手袋（できれば防塵マスク着用）をして、粉が飛散しないよう静か に扱う。

直接の火気との接触は避ける。空気輸送等の場合は、静電気対策を取る。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件： 直射日光、高温多湿を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
容器を密閉し、空気との接触を避ける。保管場所に施錠すること。
保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。
1年以上の保管については酸化劣化に注意する。

安全な容器包装材料： 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 屋内作業では、許容濃度を超えないように換気を行い、必要に応じて、集塵装置を設置する。
取扱い場所の近くに洗眼器、シャワーを設け、その位置を表示する。

許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会 勧告値	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
石油樹脂 (C4～C5炭化水素留分・C8～C10芳香族炭化水素留分・フェノール共重合物)	未設定	未設定	未設定	未設定

石油樹脂としては設定されていないが、粉塵状態に対しては、日本産業衛生学会の第三種粉じん、ACGIHのParticles(insoluble or poor soluble) Not Otherwise Specifiedの許容濃度が採用される。

日本産業衛生学会 (2017)
第三種粉じん (その他の無機および有機粉じん) : 2mg/m³ (吸入性粉じん)、8mg/m³ (総粉じん)

ACGIH (2017)
Particles (insoluble or poor soluble) : 3mg/m³ (respirable particles)、10mg/m³ (inhalable particles)

保護具

呼吸用保護具： 設備対策によっても空気中の濃度が、作業員の健康を保護するのに十分なレベルを保てない場合、適切な呼吸保護具を着用すること。推奨する呼吸保護具はJIS T8150の指定防護係数を満たす防じんマスク

手の保護具： 適切な保護手袋を着用する。

眼の保護具： 適切な保護めがねを着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な顔面用保護具を着用すること。

適切な衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観 物理的状态： 固体
形状： フレーク
色： 黄褐色

臭い： 芳香族系
臭いのしきい (閾) 値： データなし
pH： データなし
融点・凝固点： 軟化点120-130(°C) JX試験法
引火点： データなし
自然発火温度： データなし
燃焼の又は爆発範囲： データなし
蒸気圧： データなし
蒸気密度： データなし

蒸発速度：	データなし
密度(g/cm ³):	約1.0
n-オクタノール/水 分配係数：	データなし
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的反応性、化学的安定性：	通常の取り扱い及び保管条件では、安定である。
危険有害反応可能性：	自然発火性、水との反応性共になし。 酸化性・自己反応性・爆発性なし。
避けるべき条件：	現在のところ有用な情報なし。
混触危険物質：	現在のところ有用な情報なし。
危険有害な分解生成物：	燃焼の際は煙、一酸化炭素、二酸化炭素を発生する。
その他：	現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	データなし。
急性毒性（経皮）：	データなし。
急性毒性（吸入）：	データなし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	現在のところ有用な情報なし。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性：	現在のところ有用な情報なし。
呼吸器感作性：	現在のところ有用な情報なし。
皮膚感作性：	現在のところ有用な情報なし。
生殖細胞変異原性：	現在のところ有用な情報なし。
発がん性：	現在のところ有用な情報なし。
生殖毒性：	現在のところ有用な情報なし。
特定標的臓器毒性、単回ばく露：	現在のところ有用な情報なし。
特定標的臓器毒性、反復ばく露：	現在のところ有用な情報なし。
吸引力呼吸器有害性：	現在のところ有用な情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	
急性毒性：	現在のところ有用な情報なし。
残留性・分解性：	現在のところ有用な情報なし。
生体蓄積性：	現在のところ有用な情報なし。
土壤中の移動性：	現在のところ有用な情報なし。
他の有害影響：	情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 廃棄は焼却によって行なう。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連分類： 非該当

国内規制： 非該当
輸送の特定の
安全対策及び条件： 雨等に濡れないように注意する。

15. 適用法令

消防法： 非危険物
安衛法： 該当なし
PRTR法（化管法）： 該当なし
海洋汚染防止法： 該当なし
船舶安全法： 該当なし
航空法： 該当なし

16. その他の情報

免責文： 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。